

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 山田 菜生子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年5月分】

1. 実施した活動の概要・状況

5月は、着任後初のイベントとなった「春のカヤック体験会」をはじめ、週に一度の夢の平成号イルカウォッチングツアー・ツアーガイド、さらに青森大学清川先生の講義手伝いなどを行った。また、10日にはむつ市役所での地域おこし協力隊委嘱式に参加し、改めて川内・脇野沢地区での地域おこしに対する思いを強くした。

〈主な活動〉

○5月5日（木・祝）春のカヤック体験

かわうち・まりん・びーちから川内川下流までカヤックの体験を行う有料イベント。5月3日に予定されていたが、悪天候のため5日に延期となった。それにより当初参加予定であった3名のうち2名のみ参加となったが、安全に十分配慮して企画を実施することが出来た。着任後初のイベントで、学ぶことも多かったため今後の活動に生かしていきたい。



○5月28日（土）親子でイルカウォッチング

下北地域在住の親子を対象とした全3回のイルカウォッチングプログラム。青森大学で忍者学や青森学の講義を担当し、陸奥湾のカマイルカ調査を長年にわたり行ってきた清川繁人教授にカマイルカについての講義をしていただき、その後「夢の平成号」からカマイルカを観察する。

28日は悪天候のため夢の平成号が欠航し、陸地からの観察に変更となった。結果、観察中にイルカを発見することは叶わなかったが、バスでの移動中に参加者の子どもが死んで漂着しているカマイルカを発見し、「貴重な経験ができた」とアンケートでも好意的な意見が寄せられた。



○5月31日（火）青森大学むつキャンパス カマイルカ調査

新設された青森大学むつキャンパスの学生と当 NPO 法人の交流を図るべく、清川教授（前述）とともに、夢の平成号からカマイルカの調査を行うプログラム。悪天候による夢の平成号の欠航により、プログラム内容の大幅な変更を行い、体験館内での清川先生によるオンライン講義、そして体験館の見学となった。学生全員が体験館に初めて訪れるらしく、今後は地域の若者が利用しやすい体験館づくりを行っていきたい。



○体験館ポスター作成

体験館のポスターを作成し、かわうち・まりん・びーちや屋外トイレに貼り付けた。地域住民との会話の中で、「イベント実施日以外に入館してよいかわからない」「一般の人が入館してよいかわからない」との声があり、地域住民の体験館に対するイメージが浮き彫りになった。そこで地域住民による体験館利用を促進するための第一歩としてポスターの作成を行った。今後も様々な形で発信を続け、体験館利用の精神的なハードルを下げていきたい。



2. 翌月の活動予定

6月は、下記の活動に加え上述の漂着したカマイルカの死体解剖・標本作成を行っていく。

6月 4日、11日 親子でイルカウォッチング@陸奥湾

6月12日 かわうち・まりん・びーち海岸清掃

6月26日 海と日本プロジェクト ホタテ養殖教室